





組み合わせ品名	タイプ	組み合わせ 姿図	部品品番		適合オプション
			1灯用投光器台 DYKX05183	取付バンド DYKX22821	
1灯用投光器台 DYKX05183	壁付け用		× 1		電源収納ボックス：NNY (H) 28489
投光器台 XDYK1100	コンクリート ポール用		× 1	× 2	電源収納ボックス：NNY (H) 28489
投光器台 XDYK1200			× 2	× 2	電源収納ボックス：DYKX (H) 05089 取付金具
投光器台 XDYK1400			× 4	× 4	取付バンド : DYKX22815

上記 () 内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意



警告

- 施工は施工説明にしたがい確実にを行う。
施工に不備があると感電・落下・電力柱共架アーム折れの原因となります。
- 高所での作業は必ずそれに適した格好（ヘルメット・安全帯の着用等）にて行う。
軽装での高所作業は落下事故の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実にを行う。取付ける投光器には個別に接地工事を行う。
接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 投光器台の改造や架空配線、適合器具以外のものの取り付けは、絶対に行わない。
発火・感電・落下・ポール折れ・投光器台折れの原因となります。
- 投光器台は一般屋外用です。振動や衝撃の多い場所（クレーン設置場所・橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、浴室、屋内プール、粉塵の多い場所等では使用しない。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。
- コンクリートポール及び基礎は事前に取り付ける投光器を確認のうえ、十分な強度を有するものを用意する。
強度が不十分な場合は、ポール転倒の原因となります。



注意

- 60 m/s 仕様です。必ず適合器具と組み合わせて使用してください。器具側の承認図を確認してください。
適合外の器具と組み合わせてご使用されますと落下の原因となります。
- この投光器台はコンクリートポール（テーパーポール）・壁付け専用です。
- 取付可能ポールはφ190～φ350です。
適合以外のポールは使用しないでください。落下の原因となります。
- 壁付けを使用する場合、質量に耐える所に確実に取り付けてください。
合板やベニヤなどの柔らかい木材には取り付けないでください。
取り付けに不備があると、落下の原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
投光器台破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つららが落ちることがある場合、つららの除去を行ってください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- 使用を終了した投光器台は、放置せずに撤去してください。落下の原因となります。
- 投光器台は必ず水平に取り付けてください。
水平状態以外の取付かたをされると落下の原因となります。
- 投光器台の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。
けがの恐れがあります。

各部の名前と取り付けかた

1. 投光器台・電源収納ボックス取付金具（別途）の取り付け

（コンクリートポール取り付け時）

投光器台（DYKX05183）を

取付バンド（DYKX22821）で

コンクリートポール（別途）に取り付ける。

・取付バンドおよび固定ナットは確実に締め付けてください。

取付バンドおよび固定ナットの締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。

取付バンド（DYKX22821）と固定ナットを締付するときの目安

取付部締付トルク：

50N・m / 工具の柄の長さ：250mm程度

電源内蔵型投光器を使用しない場合（電源別置型使用時）は

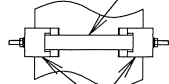
電源収納ボックス取付金具（別途）（DYKX05089）を

取付バンド（別途）（DYKX22815）で

コンクリートポールに取り付ける。

・使用する電源収納ボックスの取り付け長に合わせて電源収納ボックス取付金具の位置を決めてください。

・X DYK1200、1400では電源収納ボックス取付金具2個を取付バンド1本で



コンクリートポールに

取り付けてください。

・取付バンドおよび固定ナットは確実に締め付けてください。

取付バンドおよび固定ナットの締め付けが

不十分な場合は

落下の原因となります。

（壁付け時）

投光器台（DYKX05183）を

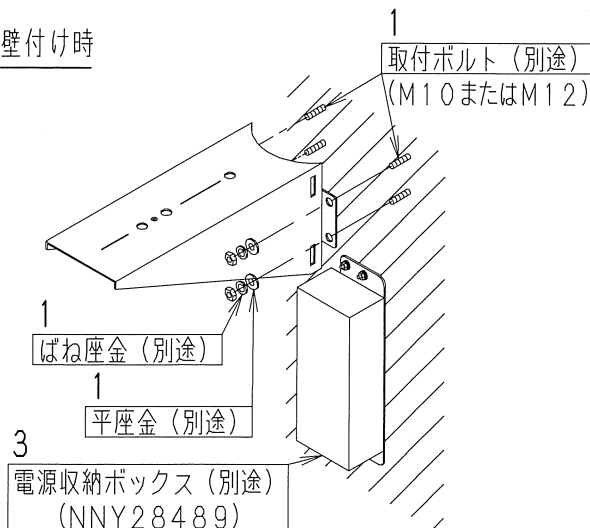
取付ボルト（別途）で壁面に取り付ける。

・取付ボルトはM10またはM12を使用してください。

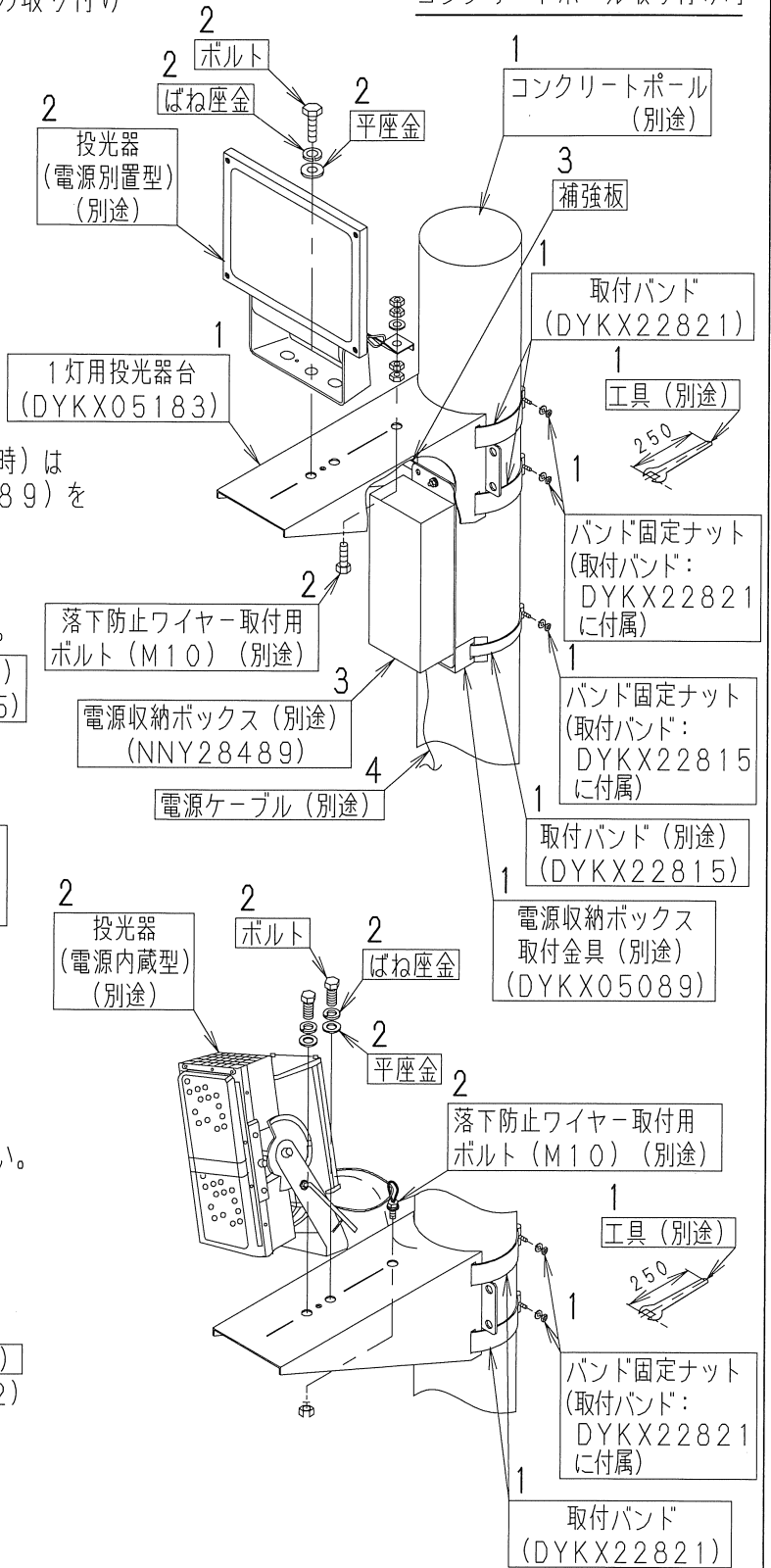
・取り付けは平座金・ばね座金を用いて確実に行ってください。

取り付けが不十分な場合は落下の原因となります。

壁付け時



コンクリートポール取り付け時



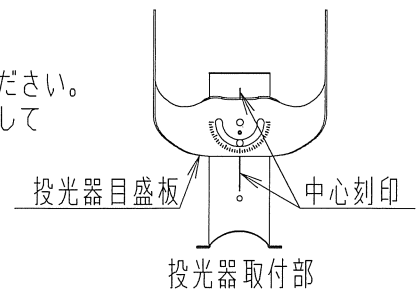
（この絵はモデル図です）

各部の名前と取り付けかた（つづき）

2. 投光器（別途）の取り付け

投光器（別途）を投光器台（DYKX05183）に固定する。

- ・投光器、落下防止ワイヤーの取り付け方法は投光器の取扱説明書を確認してください。
- ・投光器台の中心刻印は投光器の目盛板（アーム回転用）の目盛と合わせて使用してください。
- ・ボルトは適正な締付トルクで確実に締め付けてください。
ボルトの締め付けが不十分な場合は投光器落下の原因となります。



3. 電源収納ボックス（別途）の取り付け

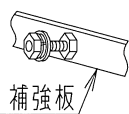
（電源内蔵型投光器を使用する場合は不要）

補強板に電源収納ボックス（別途）（NNY28489）上脚を取り付けた後、電源収納ボックス取付金具（別途）（DYKX05089）に電源収納ボックス下脚を取り付ける。

- ・ナット（M8）は締付トルク12N・mにて確実に締め付けてください。
ナットの締め付けが不十分な場合は落下の原因となります。
- ・壁付け時の電源収納ボックスの取り付け方法は電源収納ボックスの取扱説明書を確認してください。

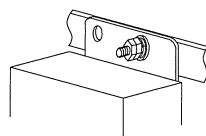
〈電源収納ボックス上脚〉

(1)

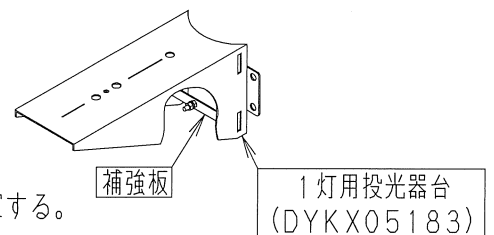


- ・ボルトからナット・ばね座金・平座金を外す。

(2)

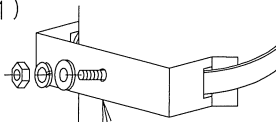


- ・電源収納ボックスの上脚を平座金・ばね座金・ナットで固定する。



〈電源収納ボックス下脚〉

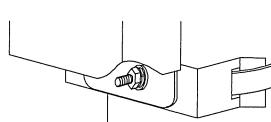
(1)



電源収納ボックス取付金具（別途）
（DYKX05089）

- ・ボルトからナット・ばね座金・平座金を外す。

(2)



- ・電源収納ボックスの下脚を平座金・ばね座金・ナットで固定する。

4. 投光器（別途）・電源収納ボックス（別途）・電源ケーブル（別途）の結線

投光器（別途）・電源収納ボックス（電源内蔵型投光器を使用する場合は不要）（別途）（NNY28489）・電源ケーブル（別途）の結線を行う。

- ・詳細は投光器・電源収納ボックスの取扱説明書を確認してください。
- ・接地工事を確実に行ってください。
（結線方法・接地工事の種類は、投光器・電源収納ボックスの取扱説明書を確認してください。）
接地工事が不完全な場合は、感電の原因となります。

（この絵はモデル図です）

※下記（）内は加工品番です。
組み合わせてご採用いただく商品の承認図・加工図を確認してください。
加工内容により適合しない場合があります。

適合オプション組み合わせ一覧

組み合わせ品名	タイプ	組み合わせ 姿図	適合オプション		
			電源収納ボックス NNY (H) 28489	電源収納ボックス取付金具 DYKX (H) 05089	取付バンド DYKX22815
1灯用投光器台 DYKX05183	壁付け用		× 1		
投光器台 XDYK1100	コンクリート ポール用		× 1	× 1	× 1
投光器台 XDYK1200			× 2	× 2	× 1
投光器台 XDYK1400			× 4	× 4	× 2

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

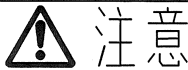
・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 投光器台の改造や架空配線、適合器具以外のものの取り付けは絶対に行わない。
発火・感電・落下・ポール折れの原因となります。
- 投光器台を故意にゆすったり、投光器台に衝撃を加えたりすることは絶対に行わない。
落下の原因となります。
- 投光器台の上に登ったりすることは絶対に行わない。
落下事故の原因となります。
- お手入れの際は、投光器の取扱説明書の指示にしたがう。
感電・火傷・落下等の原因となります。
- 異常状態のまま使用しない。
万一、表面のメッキがはがれている状態や投光器台の腐食が著しい状態等、異常状態のまま使用すると投光器台折れ・落下の原因となります。
すぐに工事店に修理を依頼してください。



注意

- 投光器台・投光器の施工は、必ず工事店・電気店（有資格者）に依頼してください。
一般の方の施工は、法律で禁止されています。
- お手入れの際は必ずボルト、ナットの緩み、部材の腐食等も併せて確認してください。
落下の原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
投光器台破損の原因となります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つららができることがある場合、つららの除去を行ってください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- 使用を終了した投光器台は、放置せずに撤去してください。
落下の原因となります。
- 投光器台には寿命があります。設置して20年経つと、外観に異常がなくても使用環境によるストレスにより腐食や金属疲労等の劣化は進行しています。
点検・補修・交換してください。
 - ・塩害地域、植栽のなかに設置の場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。（チェックシート番号：CLX2021MA）
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに折れ、落下に至る場合があります。

保証について

- 1：保証について
この商品の保証期間は1年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログを確認してください。
- 2：保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からご利用になります。
0120-872-460（FAX） (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open:9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays))

KK0423-010423